



第3回 中西別学校区学校運営協議会 の報告

10月27日(水)、第3回学校運営協議会を実施しました。

はじめに、幼稚園、小学校、中学校から、評価アンケートの結果報告と分析を踏まえた今後の教育活動の取組について説明がありました。前期の教育活動と、後記の教育活動の変更点についても報告がありました。協議した内容は、以下の2点です。



(1) 「子供の成長を見る会」の開催の仕方について

【意見】

- ・現在、感染者数は低く抑えられているが、2か月後の感染状況の見通しをもつことは難しい。
- ・小学校、中学校ともに修学旅行を11月に延期しており、そのため予定されている教育活動が11月以降に圧縮していることを踏まえると、学校側の準備期間も例年より十分に確保できない状況である。
- ・「成長を見る会」は200人弱の人数が中学校体育館に一堂に会することになり、感染症予防対策が難しい。
- ・子ども達の頑張り、成長を多くの地域の方に観ていただきたい。
- ・各家庭にオンライン配信する地域の環境がまだ整っていない。
- ・中学校の各教室で分散して映像を視聴する方法もある。
- ・紙面開催は、学校に足を運ぶことができなかつた地域の方にも子ども達の成長の様子を届けることができる良さがある。
- ・DVDではどうか。→DVD配付より紙面の方が多くの方に観ていただけるのではないかと。

◆上記の意見を踏まえ、今年度は昨年度のように、「子どもの成長を見る会」を誌面開催することになりました。発行は12月末に予定しています。

(2) 幼小中合同避難訓練について

【意見】

- ・令和元年度に実施した際の反省（冬季も現行の2次避難と引き渡しが可能か検証する必要があること）を踏まえ、冬季に合同避難訓練を行うことには意味がある。課題を見つけ、改善をして、災害時に機能する避難の仕方を見つけていく。
- ・災害は感染症の状況に関わらず発生する。拡大状況下でなければ、実施した方がよい。
- ・連合町内会も協力し、地域と連携した訓練にしていく。
- ・訓練に向けて備品等の確認も必要。

◆上記の意見を踏まえ、今年度は令和4年1月に「幼小中合同避難訓練」を実施します。ただ、悪天候または、感染症拡大により強い対策が必要な場合は中止にします。期日と引き渡し方法については、調整・確認次第、お知らせします。

「中西別の教育を考える実行委員会」は、10月幼稚園で、未満児のご家庭からの参加を拡大し、意見交流会を行いました。次は11月30日に小学校で、12月に中学校で、参観日に合わせて意見交流会を行います。その上で出された意見を踏まえ、次のステップに進みます。幼小中の意見が集まった時点で、紙面でも報告します。